

史迹美術同攷会 「石造美術勉強会」 第 38 回

幻の近江大津宮に思いをはせ、隠れ紅葉を訪ねる

楽浪の志賀の唐崎さきくあれど大宮人の舟待ちかねつ（人麻呂「万葉集」）と詠われてから 1300 年。近江大津宮の所在はいまだはっきりしませんが、関連する場所を訪ねてみましょう。

崇福寺跡〔国史跡〕大津京の乾の鎮めとして天智天皇の勅願により創建されたと伝える。本堂跡、塔跡などに多数の礎石が残る。（三重塔跡から発見された舍利容器が国立京都博物館「国宝展」で展示されています）

見世の大仏（鎌倉時代）石仏の前の道は、京白川と近江を結ぶ志賀峠越にあたります。
百穴古墳〔国史跡〕滋賀里の山腹に残る古代渡来人たちの奥津城。

南滋賀廃寺〔国史跡〕史跡公園が造られており、塔心礎・回廊の礎石などが残る。

近江大津宮・錦織遺跡〔国史跡〕大津宮跡の推定地は市内にいくつかあり、これまでは穴太、滋賀里、南志賀、栗津などが有力な候補地でしたが、昭和 49 年に発掘されて以来、錦織遺跡が確実視されています。

灰山庭園跡〔国史跡〕如意寺跡の調査で発見され、灰山城の庭園跡とされていますが、その巨大な石組には疑問点も残されています。

法明院（園城寺北谷）・フェノロサの墓・庭園・宝塔（塔身に火袋が彫られている）

大津歴史博物館 「大津宮の研究と発掘」展 開催中



灰山庭園跡石組み

記

集 合 11月26日 午前9時30分 JR東海道線大津駅改札口

※大津駅よりマイクロバスを利用します。

解 散 京都駅八条口 午後5時頃

参加費 7000円（バス代・拝観料・昼食代）

申 込 受付25名 先着順 締め切り11月18日まで

申込に関する問合せ E-mail: gushibikai@gmail.com